

## 川上ダム通信

2011

3月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## 「水の調査隊」が来た!

### 青山小学校4年生が仮排水路トンネルとオオサンショウウオ保護池を見学

青山小学校の4年生が、2月8日に「水の調査隊」として川上ダム計画予定地の見学に来ました。「水の調査隊」は、ダム事業関連の工事現場やダム計画地周辺の環境を実際に見聞することにより水に対する理解を、より深めるための取り組みです。

調査隊のみなさんはこれに先立ち、2月3日に学校の視聴覚室において、川上ダム職員からダムのはたらきや環境への取り組み、水の大切さなどを学習し、当日、オオサンショウウオの保護池、仮排水路トンネルを現地で見学しました。



小学校での水の出前講座



人工巣穴の観察

オオサンショウウオ保護池では、全長約50cmのオオサンショウウオを間近で観察し、その生態や保全の取り組みについて機構職員から説明を受けました。この中で実際にオオサンショウウオの調査で使用しているマイクロチップの読取を体験し、個体の判別方法についても学びました。

その後、人工巣穴に移動し、体長が1mを超えるオオサンショウウオも観察しました。

仮排水路トンネルでは、トンネルの大きさに目を輝かせ、大変興味深そうでした。また、車ではなく、水を通すためのトンネルがわん曲して造られた理由やトンネル内に入った魚はどうなるのか、など子供たちからたくさんの質問が出されました。説明に参加した職員も、調査隊のみなさんの豊かな発想に触れ、大きな刺激となったようです。

今回行われました「水の調査隊」では、これからの地域を担う子供たちが実体験を通じ、ダムやダムが計画される水源地周辺の環境について身近に学習をしていただくことができました。川上ダムでは、今後も「水の調査隊」の取り組みを応援していく中で、事業へのご理解を深めていただきますよう、努力してまいります。



仮排水路トンネルの内部

【総務課 金子吉彦】

# 工事の現況

## 付替県道青美線トンネル工事について

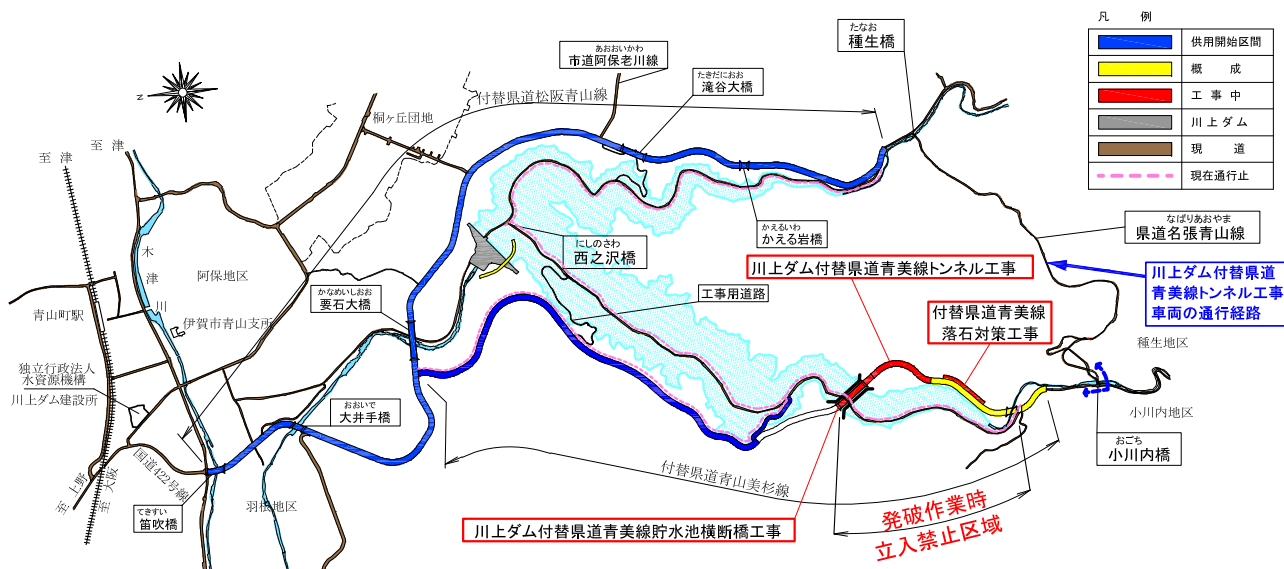
今月の工事の状況について報告いたします。付替県道青美線トンネル工事は、斜面を削る作業が完了しました。このあと、トンネルの掘削にとりかかるため、現在は**トンネルの坑口部の擁壁を作っています**。

昨年12月8日から計10回行いました山を削る範囲の発破作業については、安全に完了いたしました。地域のみなさまにはご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。

引き続きトンネル掘削の発破を3月下旬頃から開始いたします。騒音や安全に留意しつつ進めてまいります。資材運搬車等が県道松阪青山線及び県道名張青山線を通行させていただきますが、一般車両優先で工事を進めてまいります。工事へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



トンネル入口付近の作業状況



## 付替県道青美線貯水池横断橋工事について

付替県道青美線貯水池横断橋工事は、1月下旬より工事を開始しました。工事場所は、付替県道青美線トンネル工事を施工している場所の下流です（上図）。

現在は、**コンクリートブロックによる護岸を施工しています**。このブロックは、水の流れによって橋脚の基礎が傷まないようにするためのものです。

引き続き環境等に細心の注意を払いながら施工してまいりますので、工事へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



【工事課 森岡浩然】

コンクリートブロックによる護岸



# 安全運転講習を受講しました

雪の舞う日が多く、気温の上昇が鈍い日が続いており、より一層の安全運転が求められるこの頃です。

2月7日（月）と2月9日（水）の2日間、川上ダム職員が、津市にある三重県交通安全研修センターで安全運転講習を受講しました。受講目的は、コンピューターを利用した屋内での事故体験シミュレーションや屋外での自動車実技研修を通じて、日頃の交通安全への意識を高めることです。

冬道を想定した自動車実技研修では、路面にすべりやすい特殊な樹脂を塗ったり、水を撒いたコースでブレーキ練習を行いました。スタッドレスタイヤやABS装置を搭載した車両であるにもかかわらず、冬道（疑似ではありますが）では、時速30キロでも思うように停止することができず、いかに冬場の運転には細心の注意が必要であるかを再認識いたしました。

講師の先生から、「今回体験して高めた**安全運転への意識を、今後も持続させていくことが一番大事**」との言葉を常に念頭に置き、より一層の安全運転に努めてまいります。

【総務課 堀雅智】



安全運転への意識向上に向けた講義



交通事故体験シミュレータによる  
実技講習

# ISO14001で環境にやさしい事業を

2月15日（火）及び16日（水）の2日間にわたり、川上ダム建設所において認証取得しているISO14001の今年度活動内容について審査機関である財団法人日本品質保証機構より外部定期審査を受けました。節水、節電、リサイクル促進、環境に配慮した工事等の取り組み状況について審査を受け、所見では**継続的に良好な運用がなされている**との講評をいただきました。

今回の審査を踏まえて、更に努力ができる点を検討し、地域にとって「ECO」な建設所をめざしてまいります。

【調査設計課 本田真章】



審査機関からの講評



取り組み状況について審査

# 第8回 伊賀市周辺の水辺の土木

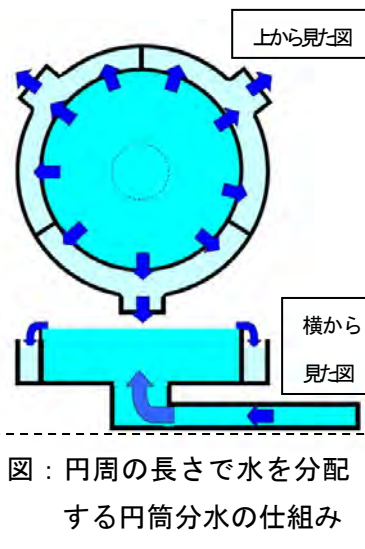
## 水争いを丸く治める「円筒分水」

干ばつの時に貴重な水を分け合うときは、川から引いた水を平等に分配しなければなりません。しかし、水を平等に分配することは昔の技術では難しく、水量の多少を巡っての争いが度々起こり、農家にとってこの問題は長い間悩みの種でした。

この水争いを解決した土木構造物が可知貫一（岐阜県技師：当時）氏により大正3年に考案された「円筒分水」です。円筒分水は右図のような仕組みで、水は区分された円周の長さに応じて常に一律に分配され、また、このことが誰の目にも分かるという特徴を持っています。この特徴から円筒分水は「水争いを解消させる切札」として全国に広まって行きました。

伊賀地方にも伊賀市千貝や名張市下小波田などに円筒分水を見つけることができます。このうち名張市のものは水の配分には厳格な取り決めがあり、取り決めに違反して水を引くと重い処罰を受けたそうです。

円筒分水は全国に100箇所以上現存していますが、その多くはかつて激しい水争いのあった場所と一致しており、水争いの記憶は円筒分水とともに今も語り継がれています。



【調査設計課 金山明広】



新田用水の円筒分水塔



伊賀市千貝の円筒分水

## ご案内

### 川上の植物図鑑を見に来てください♪

川上ダムの調査で確認された植物の約1,000種のうち、周辺の野山などを歩いて見つけた488種の『川上ダム周辺で見られる植物図鑑』をつくりました。川上ダム建設所のロビーの本棚に置いてありますので、是非見に来てください。

詳細は環境課水野までお問い合わせください。

### 都美恵神社春祭

子供御輿の御渡と獅子舞・子供相撲・都美恵の里郷土芸能保存会の太鼓奉納が行われます。また、境内では、子どもたちの健やかな成長を願う「子ども奉納相撲」が行われます。

- 日時/4月5日(火) ○場所/都美恵神社
- 伊賀市柘植町2280(JR柘植駅から徒歩10分)
- 問い合わせ/都美恵神社 Tel:0595-45-3636

## 編集後記

3月は新年度に向けた準備の月になりますね。月を通して卒業式や送別会が行われ、出会いと別れの時期でもあります。桜が咲く頃、また新たな気持ちで新年度を迎えることができますよう心掛けていきましょう。

### 【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治（建設所長）  
デスク 吉岡 直也（総務課長）  
" 柳生 光彦（工務課長）  
記者 堀 雅智（総務課）  
加藤 晶久（第一用地課）  
松高 遵（第二用地課）  
森岡 浩然（工事課）



ISO14001: 2004  
JQA-EM5769

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。  
ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆  
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇